

新しい仲間のご紹介

不動産部



安田 宗主

宇治市出身1969年生まれ
2015年12月不動産営業入社
趣味:ラグビー観戦・げんじ捕り

「ホームラン要らん。短打で繋げ」店を大きくしようと思うな。畳屋は大きくなれば潰れるだけや」祖父や親父のなんやかんやの教をそれなりに守り、何とか10期、合格点をもらえる店を継続してきたつもりでいました。

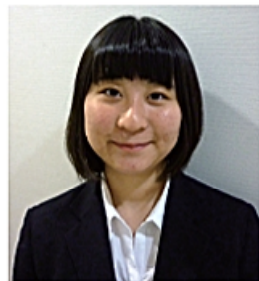
しかし昨年十一月、突如として思わぬことに足元を拘われ、代々続けてきた商売に終止符を打つことを決断するにいたりました。

そんな折、人見建設不動産部石原部長からのお誘い。私は既に46歳。再就職には困難な年齢であることは間違いない。何かに導かれる様な感覚で、就職活動もせずして人見建設に入社させて頂くことになりました。

人見建設は人見社長で四代目。京都の御所南で大正期から続く老舗であります。中に入ると有能な番頭さんがごろごろいらっしゃる。15年前程、友人の結婚披露宴で、とある老舗の社長がこんな話をされたことを覚えています。「老舗には常に有能な番頭がいる。そして求心力を持つ経営者が代々続いている。当たり前でこれが実に難しい」。ヒトが原因で受け継がれてきた生業を断念するに至った私には耳を塞ぎたい言葉ではありますが、人見建設が老舗であり続ける所以には合点がいった様な気がします。

この人見建設にご縁をいただいたことへの感謝の気持ちを忘れず、少しでも早く有能な番頭の一人に加われる様、大急ぎで研鑽してまいりたいと思います。中年の新人社員にはもうあまり時間がありませんので、どうぞよろしくお願ひ致します。

工務部



松田 星華

高知県出身1997年生まれ
2016年4月大工見習い入社
趣味:音楽鑑賞

このたび、人見建設に入社させて頂きました松田星華です。

初の女性大工として働くので私自身もなのですが、人見建設としても新しい挑戦になるのではないかと思います。

生まれ育った高知を離れ、慣れない土地で不安な事も多々ありますが、私だからこそできることを見つけられるよう目一杯仕事に励みたいと考えております。

今は右も左も分からない私ですが、人見建設の女性大工として、将来は女性だからこそ分かることがあったときに必要な技術を身に付けていきたいと思っております。

将来はより多く、お客様の笑顔の和を広げられるような大工になりたいです。



下御霊神社還幸祭 無料包丁研ぎ



●とき 2016年

5月22日(日)

午前10時～午後5時
(受付4時まで)

●ところ

人見建設1階前
(寺町夷川西北角)

弊社では、還幸祭に合わせて毎年恒例「無料包丁研ぎ」を行っております。本社の前で法被を着た大工が包丁を一本ずつ丁寧に研いでおり、受付等も含め社員総出で行っております。

地域の皆様との交流の機会を持ち、日頃からの感謝の気持ちを、少しでもお届けできればと始めた包丁研ぎも、今年で18回目を迎えます。職人が研いだ包丁の切れ味を試して頂ければ、きっとご満足頂けると思います。

下御霊祭り地域の方のみとさせて頂いておりましたが、ご好評につきこの人見建設通信をお持ちのお客様にも、無料で1本包丁を研がせて頂きます。包丁の持ち運びには充分ご注意ください。

人見建設のこだわり業者紹介

調査
無料

(株)N・U・Cグループ中部白蟻研究所

初めまして、(株)N・U・Cグループ中部白蟻研究所の鹿田と申します。弊社は、三重県鈴鹿市に本社を構え、名古屋支店・京都支店と今年新たに浜松支店を開設し、白蟻防除を中心に事業を展開しており、平成28年度で創業35年をむかえます。

その中で、京都支店におきましては開設6年とまだまだ駆け出しの途中ではありますが、おかげさまで延べ1万棟を超える白蟻防除の実績を上げるまでとなっております。

人見建設様とのお付き合いは3年程と、人見建設様の長い歴史の中ではまだまだ若輩者ではございますが、これまで築き上げてこられた信頼と実績を汚さぬよう、日々誠意を持って仕事に取り組んでおります。

昨今の住宅関連業界の実情は、住宅購入層の人口減や景気の悪化・先行きの不透明さ等を背景に、年々厳しさを増しております。しかしながら人見建設様におかれましては、その豊富な経験と誠実な仕事ぶりを現場でご一緒させて頂きながら実感しており、これからもお客様の信頼を積み上げていられる事を確信しております。その中で、弊社も人見建設様のパートナーとして共に歩み、明るい未来を勝ち取る事ができるよう、日々精進して参ります。

白蟻の被害に遭われたり、床下の状況について不安を抱えていらっしゃるような時は、ぜひ人見建設様にご相談下さい。弊社スタッフが床下を隅々まで調査し、最適なご提案をさせていただきます。

現在のお住まいであてはまる箇所をチェック! チェックの数が多いほど要注意です!

- ①最近、近所でシロアリの防除工事を実施した家がある。
ご近所の処理により逃げてるわけではありませんが、ご近所で被害があった場合、「発生しやすい場所」ということも考えられます。
- ②最近、羽アリを近所や家の中で見かけたことがある。
- ③廊下等の床に「プカプカ」するところがある。
- ④柱等の木部を叩くと「空洞音」のするところがある。
- ⑤最近、雨樋・雨戸が傷んできているように思う。
- ⑥増改築を行ったことがある。(または行う予定がある)
- ⑦庭の木杭等にシロアリによる被害がある。
- ⑧雨漏りしている箇所がある。
水気の多い部分・腐り気味の木材をシロアリは好みます。庭の木杭に発生したシロアリがさらにおいしい木材を求め、床下へ侵攻することも十分に考えられます。
- ⑨壁面、モルタルなどに亀裂やふくれがある。
すでに被害が出ている状態かもしれせん。単なる住宅の傷みであっても、そこから腐食やシロアリが発生することもあります。
- ⑩以前実施したシロアリ防除工事から、5～10年経過している。
住まい全体に防除施工をしてはじめて予防効果が発揮されますので、増改築部分には再度施工する必要がありますし、保証期間を過ぎると薬剤の効力は急激に低下します。

